

総務文教委員会 研修報告

平成29年10月4日～6日

公共施設管理を学ぶ

全国的に公共施設が大量に更新時期を迎えている。そこで、公共施設マネジメントの先進地を視察した。

東京都あきる野市では、



あきる野市での研修風景

【人口】	
あきる野市	80,947人
武蔵野市	144,917人
葛飾区	460,392人

東京都葛飾区は、全国で初めて空家を強制的に解体した自治体である。区が公費で民間所有の危険な家を解体し、費用は所有者から徴収した。多大な労力を要したが、同様の物件所有者への波及効果は大きかった。何よりも職員の姿勢が大切であると感じた。

行政代執行で 空家を解体

両市とも、確実な現状把握と、経営的観点に立つた管理運営を心掛けていると感じた。

先進地に学ぶ

建設経済委員会 研修報告

平成29年10月11日～13日

建設経済委員会では、長野県佐久市の「温水利用型健康運動施設」の整備・運営について視察した。

施設概要は鉄骨・一部鉄筋コンクリート構造、地上2階、地下1階、延べ床面積2518㎡。設計、外構、周辺整備と維持管理を含む建設費は16億3620万円。

DBO方式による 公共施設の 整備・運営

従来は設計、建設、維持管理・運営の各業務を分割し、年度ごとに発注していた。DBO方式(※)の採用により、すべての業務を長期契約とし、一

括して発注することができようになった。DBO方式では市の求める機能を満たしていれば、その手法については問わない性能発注方式により、民間のノウハウが発揮され、コスト削減にもつながる。

DBO方式の採用にあたっては、従来の入札仕様書に代わる施設整備・運営事業にかかる要求水準書の作成や事業スケジ

ユールの進行管理など、市としても、DBO方式の専門知識が必要であるとともに、民間が手を挙げる事業であることを十分検討する必要がある。その他、長野県小諸市の「立地適正化計画の策定」についても視察した。

※デザイン・ビルド・オペレーターの総称。公共が施設の所有、資金調達を行い、民間が施設の設計・建設、維持管理・運営を一括して行う方式。



佐久市での研修風景

【人口】	
佐久市	99,412人
小諸市	42,641人